

合併号
2021
10月
11月
町内会だより

tamagawagakuen-chounaikai 町田市玉川学園 2-19-5
玉川学園町内会 月曜日～金曜日 10:00～16:00
※年末年始を除きます
<https://tamagawagakuen-chonaikai.net>
 Tel/Fax : 042-725-0438 t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

町内会からのお知らせ

ご案内している行事では、下記の新型コロナウイルス感染防止対策を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

- 参加者はマスクを着用の上、ご参加ください
- 体調のすぐれない方は参加を見合わせてください
- 適切な手指消毒をおこない、ソーシャルディスタンスを守ってください
- 中止 延期
感染状況に応じて行事を中止する場合があります

地区活性化事業「第6回葉っぱを集めて焼き芋会」第二地区

今年も第二地区では子どもたちを対象に二部制にして「葉っぱを集めて焼き芋会」を開催します。ご参加お待ちしております。

参加費 乾いた葉っぱ
申込不要
雨天中止

2021年12月5日(日)
こども広場 (児童館東側)

午前の部 10時30分～12時 幼児を主に対象
午後の部 12時30分～14時 児童を主に対象
※感染対策のため時間と対象者の分散を図ります(子供1人に保護者1人を原則)
 ※強風対策をとり火気に注意を払って行います (共催: さくらと緑のプロジェクト)

年末特別警戒パトロール 防犯防災部
今年も下記の要領で実施いたします。ご参加をお待ちしております。

参加者にはプレゼントを用意しています。尚、パトロール時間は30分程度です。集団で行動する為、上記の感染防止対策に加え、下記の対策を実施します。

- 参加者は、新型コロナ・ワクチン接種者のみとし、不織布マスクを着用の上、ご参加ください
- パトロール中の私語はお控えください
- 「火の用心」などの発話は、ハンドマイクを持った方が行ない、参加者は無言でパトロールします
- 参加者は、拍子木や手を叩くなどで、盛り上げてください

- | | |
|---|---|
| 第一地区
12月26日(日)18:00～
玉川台児童遊園 防災倉庫前 | 第五地区
12月18日(土)19:00～
玉川学園5丁目なかよし公園 防災倉庫前 |
| 第二地区
12月26日(日)19:00～
きらぼし銀行前 | 第六地区
12月23日(木)19:00～
玉ちゃんバス東急台入口バス停付近 |
| 第三地区
12月25日(土)16:00～
玉川学園3丁目児童公園 | 第七地区
12月22日(水)19:00～
玉川学園7丁目児童公園 |
| 第四地区
12月20日(月)18:00～
第四地区防災倉庫前 | 第八地区
12月25日(月)19:00～
無窮会坂上 |

餅つき体験会開催 コミュニティ部

参加費 無料
申込不要
雨天顺延

コロナ禍により、2年ぶりの開催となります。餅つき体験会を下記の日程で開催します。来年こそは良い年になりますように、明日への希望を込めてお餅をつきませんか!! ついた餅はどうなるか、参加してのお楽しみです。

2022年1月9日(日)午前11時から
玉川学園コミュニティセンター 地下1階 テラス
※雨天顺延1月10日(月・祝)

きんじょの本棚・町内会事務所店開設 コミュニティ部

わたしたちの町にも、本と人が出会い、本を通じた交流を目指し活動している「きんじょの本棚」があります。

玉川学園町内会も玉川学園町内会事務所店(支店No.68)として10月18日(月)にオープンしました。本棚本体の製作は地域で木工が得意な方が心を込めて作って下さいました。「きんじょの本棚」は本棚が設置してある場所であれば、どこでも借りて、返してもいい本棚です。地域の皆様、お散歩の途中、お立ち寄りください。※都合により閉館している場合があります。

玉川学園コミュニティバス推進委員会からのお知らせ
その2 | 玉川学園コミュニティバス推進委員会

前回(8月23日公開)のお知らせで、玉ちゃんバスが新型コロナ感染症の影響により大幅赤字に陥り、今後の回復が見込めない中での運行継続には運行体制の大幅な見直しが必要であると伝えました。今回はその大幅見直し策とダイヤ改正の内容についてお知らせします。

その前に、第1回の記事で大幅赤字の金額についてのお問い合わせがありましたのでお答えいたします。2020年度(2020/4～2021/3)の決算は、運行収支段階で1,400万円の赤字、車両等の償却費を含む最終収支で2,600万円の赤字と言う大きな損失を計上しました。



見直し策は次の通りです。
◎最終収支改善にはバス台数減少による経費削減しかありません
 現在の玉ちゃんバスの日中運行は3ルート(予備車を含む)のバスで運用していますが、これを3台の運用に減らさざるを得ません。バスの1台は安全運行のための整備等に取り置かれるので予備車となり、実質的には2台で3ルートを運行することになります。単純計算で、現在の3台運行が2台運行になると33%の運行台数減少となりますが、この数値は前回お知らせしたコロナ禍による乗客数33%減少と一致します。

◎減便と運行収支改善策が必要で
 3ルートを2台運行で行なうことになると今のダイヤでは運行できず、大きく減便せざるを得ません。各ルートの事情や運行時間帯の乗車率等を吟味しながらの難しいダイヤ編成になりますが、便数減少は避けられません。さらに、運行収支改善のためには乗客の少ない便・時間帯の運行見直しや始発便の遅発化、最終便の早発化も避けられず、3つのルートの減便数は大きく異なることとなります。また、一部については運行廃止の検討が必要になるかも知れません。

次にダイヤ改正の内容についてお知らせします。極めて厳しい内容となりますが、今置かれている状況下ではやむを得ないものと思われまます。

◎運行回数を見直します(減便)
 [北ルート] 34回→28回、[東ルート] 48回→38回、[南ルート] 25回→5回。東ルートは3・4年前に実施のダイヤ改正(増便)前のイメージとなります。北ルートと南ルートは原則として同一バスを使用することになります。全ルートにおいて日中の運行回数は減少します。

◎始発便の繰り下げと終車の繰り上げを行ないます
 北ルートの終車は21:30北口発に繰り上がります。東ルートは始発と2便目を「昭和薬科大学」始発とし、終車は21:30南口発となります。

◎南ルートについて
 大幅な減便となりますが、乗車人員数の絶対数が減少し(1.8人/km)、運行廃止条件(年度乗車人員2.7人以下/営業距離1km)を下回る乗車人員実績となっているのに存続できたこと、3月に行なった4日間に亘る利用者調査・ヒヤリングから得た案であることを考えると受け入れざるを得ないと思います。存続さえできていれば今後の乗車人数増加策も検討出来ます。

玉川学園町内会では本ダイヤ改正を受け入れざるを得ないと判断しています。コロナ禍では今後の回復が見込みにくく、現段階で出来る最善策を取らざるを得ません。今後の回復状況によってはダイヤ復元を検討する条件で本案を受け入れます。

資源物《雑がみ》の出し方をご存知ですか? | 環境部

資源物の内、紙類には新聞、ダンボール、雑誌・本がありますが、それ以外の紙を「雑がみ」と呼んでいます。

この雑がみも回収した後はリサイクルされますが、紙や紙類似のもでもリサイクル出来ないものもあります。こうした紙は「燃やせるごみ」として収集袋に入れて出して下さい。今回は、雑がみとしては出せないものを並べてみました。

- 汚れやニオイのひどいもの**
例: 洗剤や線香、石鹸の箱、油染みや食べ物がついている紙
 - 特殊加工したもの** (これは判断に迷うものもあります)
例: ビニールコート紙、紙コップ、油紙、写真、圧着はがき、合成紙、防水加工紙、感熱紙(スーパーのレシート等)、裏カーボン紙、ノーカーボン紙、金・銀紙、昇華転写紙(捺染紙、アイロンプリント紙)、切符や定期券など磁気の入ったもの。裏が銀色または白色のコーティングのあるもの、プラスチック注ぎ口がついている紙パック
 - 紙以外のものが付いている紙** (これは直ぐにわかりますね)
例: 粘着テープ、ワッペン、金具、フィルム、セロハン、ダイレクトメールの窓のセロハン部分
- 雑がみは古紙・古着と同じ日に回収されます。家庭内で決まった場所に紙袋を用紙において、雑がみはそこにいれるようにするとそのまま袋ごと出して便利です。それ以外にも雑誌などの間に挟む、大きな紙でつつむという方法もありますが、雑がみとして出す際には、これはリサイクルできるかな?と調べてみて下さい。

防災コーナー 要石 かなめいし

今回の話題は、安否確認です。阪神淡路大震災や東日本大震災などの教訓から発災直後の一刻を争う状況では、公的機関などによる支援は間に合わず、地域住民による共助が最も重要であると理解されています。

発災直後に身の安全が確保でき周囲の安全が確認出来たら次に行う行動が安否確認です。家屋や塀などの倒壊や家具などの転倒・落下・移動などで被災した方の救出は、時間との勝負です。救出までの時間が長いと、圧迫死の恐れや助け出されてもクラッシュ症候群（脚や腕などが圧迫され続けることが原因で発症し、圧迫時間が1時間で発症した例もある）で死に至る可能性があります。素早い救出を実現するためには、迅速な安否確認が必要となります。

ご家庭で在宅家族の安全を確認したら白いタオルを門口に掲げ「我が家は無事」を知らせる「白いタオル出し」は、安否確認の迅速化を目指したものになっています。

現状把握

2020年の防災アンケートでは、「震災時にあなたの安否を確認してもらえる方はいますか？」という問いに対し、6.3%の世帯が「いない」という回答でした。大震災では、通信の途絶などで、家族同士で連絡がつかない事態が発生します。安否を確認してもらえるのは家族のみで、かつ、日中に家族が通勤や通学で不在となった場合（日中独居）、安否を確認してもらえない可能性があります。そのような世帯が67.8%もありました。先ほどの「安否を確認してもらえない方」を合わせると、74.1%の世帯が「安否確認に不安が残る」という結果になりました。更に、安否確認に不安が残る、かつ、家具等の転倒防止が不十分と答えた世帯は、全体で24.3%となりました。このままでは、この地域の4世帯に1世帯の割合で、家具の転倒・落下・移動などで身動きがとれなくなり、安否確認もされずに閉じ込められる可能性があります。また、高齢者に限らず、地震による大きな揺れで転倒し、意識を失ったり骨折や打ち身などで動けなくなったりする方もいます。更に、自ら避難することが困難な方や状況把握が困難な方がいます。町田市では要配慮者の内、避難行動が困難な方を避難行動要支援者と呼んでいます。要配慮者とは、高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児など、特に配慮が必要な方です。

また、地震で多発する火災は延焼する可能性が高く、避難広場などの安全な場所への避難が急がれます。取り残された方がいないか、迅速かつ的確な安否確認が必要になります。

課題

日中独居者や要配慮者は、被災する可能性が高く、被災した場合、助けを呼ぶことが困難です。日中独居が増える時間帯は、地域の人口が大幅に減少する時間帯でもあり、安否確認や救出の為に人員が不足し安否確認に時間がかかる恐れがあります。更に、要配慮者情報が周知されていない状況では、見逃しも起きる可能性があります。

要配慮者の把握を平常時から行っておいて、発災時に役立てるという戦略が防災・減災につながります。

町田市では、「手上げ方式」と称して、自主防災組織や町内会・自治会による独自の調査により要配慮者情報を把握することを推奨しています。町田市の「手上げ方式」は、地域住民が必要に応じて要配慮者登録申込書（仮称）に氏名、住所、生年月日、個人の状況（障がいや介護の状況、など）、家族構成、普段いる部屋や寝室の位置、緊急連絡先などを記載し、地域の自主防災組織や町内会・自治会に届けるものです。この方式では、申込書を受け取る側で個人情報を適切に管理するとしても、一部の人に、その内容が見られてしまう為、地域住民と受け取る側との信頼関係が無ければうまくいきません。町田市内で、この方式を採用している団体では、申し込み率は多くても3、4割ほどです。

解決策の例

一方、「手上げ方式」に工夫を施し、申し込み率を8割以上に上げている自治会があります。その方式は、町田市が提案している要配慮者登録申込書に相当するものを封筒に入れて封筒して自治会に預け、大震災が発生したときのみ封筒を破り、安否確認に役立てるといったものです。また、対象を要配慮者に限らず一般の世帯にまで拡大して安否確認の精度を上げています。更に、年に一度、内容更新の為に返却しますが、この時、返却された封筒の封印を確認できるので安心です。

市政懇談会報告

総務部

2021年度玉川学園・南大谷地区市政懇談会が10月15日（金）に玉川学園コミュニティセンターにて開催されました。

今年度の市政懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き人数と時間を絞った形で開催されました。町田市からは石阪市長はじめ各部門長、地域からは玉川学園町内会および他の町内会・自治会代表者約20名が参加しました。

懇談会の前半は、事前に提出した地域要望事項に関して市の担当部門長が回答し、その後質疑応答する形で行われました。玉川学園町内会からの要望事項は次の通りです。

- ・地域資源回収の今後について
- ・玉川学園駅前周辺の路上喫煙禁止区域指定についての今後の検討状況
- ・避難施設の収容可能者数の不足への対策について
- ・消防団の運営経費の予算措置について

他の町内会からは次の通りです。

- ・南大谷地域の交通環境の整備について

後半の石阪市長による市政報告では、特に、新型コロナウイルスに関連した取り組みが報告されました。尚、市政懇談会の議事録は、市のホームページで公開され、町内会のホームページにも転載される予定です。

クリスマス 子どもの集いのお知らせ

コミュニティ部

参加費
無料
申込不要

歌のおにいさん宮原健一郎さんと『ぶるちーに』の、おねえさんたちと一緒にクリスマスの歌や手遊びでクリスマスを楽しみませんか？サンタさんからのプレゼントもあります。



12月19日（日）
15:30～16:30

さくらんぼホール

Merry
Christmas



- *感染防止対策のため、入場は50名とさせていただきます。
- *発熱、体調の悪い方はご来場をお控えください。
- *感染防止のためマスクの着用、手指の消毒をお願いします。
- *感染状況によっては中止になることもあります。

今月号からコラムを 担当していただくことになりました

玉川学園にお住まいのイラストレーターの本田亮さんをご紹介します。本田さんは本や雑誌の挿絵、広告、教科書、教材、WEBサイト、壁画など多岐にわたり活躍されています。毎号連載していただく予定ですので、どうぞご期待ください。



資源回収の報告 9月重量は 77.8 トンでした

環境部

資源物は

収集当日の朝8時半までに出してください

- *古紙・ダンボールは必ず紙ひもで括ってください
- *古布は一度に出さず分散して出してください

資源物のお問合わせは

町内会事務所または 大興資源へ

☎045-929-4813

資源物の不正な抜き取りを目撃した時は

日時、場所、回収車の車両番号などを町内会まで

☎725-0438



年末年始事務所休業のお知らせ

12月25日（土）～1月5日（水）です